

縄文世界遺産へ



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
©東奥日報社 2021

インターネット
号外

ご購入のお問い合わせは
東奥日報社販売局



0120-146-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

イコモスが「登録」勧告



青森市の三内丸山遺跡は2020年5月(本紙空撮チーム、許可を得て小型無人機で撮影)

7月決定、本県2例目

本県、北海道、岩手県、秋田県の17遺跡でつくる「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の諮問機関・国際記念物遺跡会議(イコモス)は26日、世界文化遺産に登録するよう勧告した。

7月16～31日にオンラインで開催されるユネスコ世界遺産委員会で正式決定する見通し。本県の世界遺産は、1993年に登録された自然遺産「白神山」に続き2例目。文字のない「先史時代」の遺産としては国内初の世界遺産となる。

4道県などは、自然資源を持続的に利用し、1万年以上にわたり採集・漁労・狩猟により定住した人々の

生活と精神文化を示し、世界遺産に値すると主張していた。

縄文遺跡群は紀元前1万3千年から紀元前400年の1万年以上にわたる、集落、共同墓地、祭祀などの遺跡で構成する。

本県からは、大規模な拠点集落の三内丸山遺跡(青森市)のほか、小牧野遺跡(同市)、大森勝山遺跡(弘前市)、是川石器時代遺跡(八戸市)、田小屋野貝塚、亀ヶ岡石器時代遺跡(つがる市)、大平山元遺跡(外ヶ浜町)、二ツ森貝塚(七戸町)の7遺跡が含まれている。

詳細は27日付朝刊で